



# 福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (通称:横浜市社協)



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

## 特集 多様性を尊重しあえる社会を目指して ～外国人と共に生きるヨコハマ～



なか国際交流ラウンジに集う「にしいる探険隊」メンバーとコーディネーター  
(なか国際交流ラウンジにて:4月24日撮影)  
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事 地域の多文化共生を進める仕事  
公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE) …… p4

ボラセン情報 一緒に楽しめる! 出会いの場  
～障害のある方との共通体験～ …… p5

市社協情報 未来へ想いをつなぐ「遺贈(寄付)」を広げていきます  
～福祉分野への遺贈(寄付)に関する専門相談～ …… p6

福祉よこはま最新号と  
バックナンバー▶

福祉よこはま 検索



# 多様性を尊重しあえる 社会を目指して

## 外国人と共に生きるヨコハマ

横浜市には10万人※1を超える外国人が暮らしています(横浜市人口:約376万人)。

市内で外国人人口が一番多い中区では、同じ地域に生活する中で、互いの文化を尊重しあいながら共に生きることへの理解が広がっています。

(市の人口は令和5年4月1日現在) ※1…167か国・地域/110,321人(令和5年4月末日現在)



### なか国際交流 ラウンジ (以下、ラウンジ) の取組

ラウンジは、2018年に外国につながる若者※2の居場所「Rainbowスペース」を開始しました。企画・運営をしている「にじいろ探険隊」は、「中区・外国人中学生学習支援教室※3(以下、学習支援教室)」の卒業生たちによって結成されました。「Rainbowスペース」では、国をまたぐことによる葛藤・悩みをもつ若者たちが、複数の言語文化間に生きる自分らしい未来を目指して、映画制作等の表現活動や後輩への学習支援などを行っています。また、地域における住民どうしの架け橋となるよう、行事等での通訳ボランティアとしても活動しています。

にじいろ探険隊メンバー、学習支援教室ボランティア、そして、ラウンジのコーディネーターに話を聞きました。

※2…両親の両方又はどちらかが外国籍であるなど、本人の国籍を問わずさまざまな形で外国につながる若者の総称  
※3…外国につながる中学生の学習支援教室を区内公立中学校と連携して2009年より実施



ラウンジは将来の道を見つけれられたもう一つの家  
後輩たちの力になりたい!

にじいろ探険隊メンバー  
チンタンエン  
陳丹艶さん

中学1年生で来日後、中学3年生からラウンジの学習支援教室に通い、日本語や学校の教科を勉強し始めました。高校生の頃から大学受験の勉強をしながら、中学生に日本語や教科を教えるようになり、後輩たちに勉強だけでなく自分の経験を伝える機会にもなっています。大学でも多文化共生について学んでいます。

にじいろ探険隊メンバーとは、Rainbowスペースを運営したり、地域のラジオ体操や防災訓練などの通訳として参加したりして一緒に成長してきました。また、昨年1月には成人式実行委員の司会者の一人として会場にも立ちました。何事にもチャレンジする姿を後輩たちに見てもらいたいと思っています。



考える姿勢を見守り、自分の言葉で答えるのを待つ

外国人中学生学習支援教室ボランティア  
山田 隆さん

仕事でタイに駐在した際、現地の人が親しく接してくれて交流を深めました。また、大学で教育学を学んだこともあり、定年後に学習支援教室のボランティアを始めました。日本の文化・言葉がわからないまま来日した若者は、人一倍の苦勞をしながら日本語をうまく話せるように努力しています。

ボランティアとして心がけているのは、考える姿勢を見守り、自分の言葉で答えるのを待つ、ということ。生徒たちの学校の成績が少しでも良くなるとやはり嬉しいですね。



週1回、日本語で書かれたニュースを音読しています



ラウンジは、一人ひとりが役割を持ちながら自然体でいられる場所

なか国際交流ラウンジ  
若者人材育成・地域連携強化コーディネーター  
リンキンエン  
林 錦園さん

来日する子どもたちは日本語を身につけることから始まりますが、それだけでなく、その子が持っている思いや、やりたいことを大切にしています。ここに来る子どもたちが、それぞれの目標を見つけ成長できるよう、学習支援教室のボランティアやラウンジのスタッフが言葉をかけ見守っています。

ラウンジは若者がサポートを受けるだけでなく、若者を育てる場になっています。通訳ボランティアなどの地域活動で、一人ひとりが役割を持つことの積み重ねによって、日本の生活に親しみを持ち自然体で暮らせるように応援をしています。

## 中区ベイサイド 新山下自治会 (中区第2地区社会福祉協議会) の取組

この地域には古くから外国人が暮らしています。誰でも気さくに挨拶しあえる自治会で、お祭りなどのイベントに積極的に参加してくれる人も多いそうです。ウクライナから避難されている家族も暮らしている中区ベイサイド新山下自治会の取組を伺いました。



左から  
ベイサイド新山下自治会の  
石崎さん、松澤会長、井上さん  
中区役所区政推進課広報相談係の山根係長

### ウクライナの人たちが望んでいることを知る、 それぞれのできることで見守る

自治会では令和4年からこれまでに、ウクライナから5家族14人を迎えています。避難してきた当初に、住民が持ち寄った衣料品を贈ったり、浴衣の着付けをして歓迎しました。日本の冬は寒いとの声があり、毛布や羽毛布団などを提供しました。また、自治会館で日本語教室を開催したり、フードバンクへの同行もしています。

ある家族は清掃活動や行事への参加を通じて「日本の人とこんなに仲良くなれて嬉しい」と話してくれました。彼らが何を望んでいるのかは、実際に接してみないと気づきにくいですが、食事、仕事、子どもの教育、病気など心配事はさまざまです。自治会以外にも、ウクライナの方は母国語で情報交換ができる「ウクライナ交流カフェ ドゥルーズィ」※4でつながっていて、食料配布や就職の情報を得ています。

懸命に生きようとする彼らを、地域のネットワーク、近隣の施設、行政の協力を得て、地域住民のそれぞれが自分たちにできることで見守ることが一番の支えだと考えています。

※4…「ウクライナ交流カフェ ドゥルーズィ」：横浜市が開設し公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)が運営するウクライナ避難民の交流拠点

●YOKEとは…福祉の仕事4ページをご覧ください

近隣の「中区障害者地域活動ホーム」では  
千羽鶴でウクライナの平和を祈っています



ウクライナの皆さんに  
浴衣の着付けをしました



活動してみたい! 詳しく話を聞きたい!

### なか国際交流ラウンジ

- 外国人住民への生活情報提供、相談を多言語で実施
- 日本語教室の開催
- 地域多文化共生推進のための通訳ボランティアの派遣
- 外国につながる子ども・若者の人材育成などを行っています。

対応言語 日本語、英語、中国語

開館時間 月～日曜 9時15分～17時

休館 第3日曜、年末年始

電話 045-210-0667

E-mail nakalounge@yoke.or.jp

外国人住民と  
地域をつなぐ  
多文化共生の  
拠点です

自分の住むまちの近くで探したい!

### 国際交流ラウンジ

市内在住の外国人支援・国際交流・多文化共生のための施設です。市内に12か所あり市民活動団体、NPO法人、公益財団法人などが運営しています。各ラウンジを拠点に多くの市民ボランティアが関わっています。

- 国際交流ラウンジについては  
ホームページをご覧ください

国際交流ラウンジ 検索



特集の内容については福祉の仕事4ページでも関連情報をご案内しています。



## 地域の多文化共生を進める仕事 公益財団法人 横浜市国際交流協会(ヨーク)

多文化共生推進課長の

かど み ゆ き

門 美由紀さん に聞きました

人と出会い互いの背景を知り、  
驚き、共感しあうこと  
つながっていくこと  
それが多文化共生のはじまりです

### この仕事を始めたきっかけ

- ▶ 就職した銀行の国際部で、外国人行員との交流からさまざまな異文化に触れました。言葉や文化の理解がコミュニケーションを深めると考え、地域の日本語ボランティア支援等を行っていた YOKE の一員になりました。その後、外国につながる方の生活を地域で支えることへの関心が高まり、仕事を辞めて大学院へ進学しました。また、社会福祉士の資格も取りました。大学の助教などを経て、より地域に近いところで働きたいと3年ほど前に YOKE に戻りました。

### 日々の仕事

- ▶ 外国につながる方たちが地域で日本語を学ぶ環境づくりや、外国につながる子どもへの支援、国際交流ラウンジ※の連携支援を行ってきました。昨年度からは横浜に暮らすウクライナ避難民の生活・相談・日本語学習・居場所・交流等の支援や管理職としての業務にも携わっています。

### 心がけていること

- ▶ 外国につながる人と、地域の中でコミュニケーションの取れる仲間になることが大切だと考えています。会話から関係が生まれ、その人の背景や歴史を知り、つながりを深めるなかで、互いを尊重しあえる関係が育まれます。顔が見える関係になることで、したいことや困りごとを、同じ地域に暮らす住民目線で知ることができます。行政や団体、市民の方たちとどの様に連携すればいいのかを考え、地域でつながり、支えあえる関係を作っていくのが自分の役割だと思っています。

### 喜び、やりがい

- ▶ こうした思いの背景には、以前、数年にわたりボランティアとして参加した子どもたち向けの多文化キャンプでの経験があります。信頼できる大人や仲間がいると安心して「実は中国語が話せる」と自分のルーツや思いを話しはじめたり、リーダーとして参加する若者が出てきたりと、子どもたちの育ちに寄り添えることが嬉しかったのです。たくさんの人と出会い、驚き、共感し、発見し、困った時には解決するための形を共に作っていく、地域でみんなが暮らしやすくなるための活動に携わっていくことにやりがいを感じています。

### 共に暮らすこと、活動に興味のある人へ

- ▶ 多文化共生とは、人との出会いに始まり会話を重ねて理解を深めることだと思います。外国につながる方たちはもっと日本のことを知りたい、つながりたいと思っています。互いの衣食住や文化、祭りなどの話題は自然なコミュニケーションのきっかけとなり心の距離を縮めます。あらゆる年代、文化的背景、得意なこと、どんな経験やキャリアも生かせるのが多文化共生の場です。少しでも興味があれば YOKE や国際交流ラウンジの活動に参加してみてください。

### 公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

(パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5階)

私たちは、国際都市横浜の歴史的・文化的特性を継承しつつ、異なる文化や価値観をとともに認め、尊重し合える豊かな社会づくりを目指します。

—YOKE ミッションステートメント—

☎045-222-1171(代表)

- ホームページはコチラからご覧いただけます。

YOKE

検索



▲文化交流イベントへの参加(左から2番目が門さん)

※国際交流ラウンジとは…特集3ページをご覧ください

◆ この記事に関するお問合せは ……………  
横浜市社会福祉協議会 企画部企画課 ☎ 045-201-2090

横浜市内の福祉人材に  
関する求人情報 ⇨

横浜市介護人材関連情報  
ホームページ▶



# 一緒に楽しめる！ 出会いの場

～障害のある方との共通体験～

令和4年度から始まった、「障害当事者との共通体験の場づくり事業」は、障害のある方と子どもたちの出会いの場をつくり、共通の体験を通して、地域にはさまざまな方が住んでいることを知り、相手を思いやる気持ちを育むことを目的に実施している事業です。

春休みの1日、「NPO法人まどか わーくす太尾(以下、わーくす太尾)」で、利用者の皆さんとガールスカウトに所属する中学生5人で一緒に行ったポッチャ大会を紹介します！

## 当日の様子

まずは、わーくす太尾の利用者と中学生のみなさんで自己紹介。全員で応援歌を歌い、気持ちを高めた後、利用者と中学生の混合チームで大会がスタート！同じチームメンバーはお揃いのバンダナをつけて戦います。

チームメイトにボールを渡したり、「頑張って！」と応援したり、予選が終わるころには、即席のチームとは思えない一体感も生まれました。

ボールをうまく投げられた時はチーム全員から「やった～！」の歓声！優勝チームには、わーくす太尾の自主製品が贈られました。



こんなお仕事を  
しているんですね！

休憩中には  
事業所の作業を  
見学させて  
もらいました！



### 施設職員の感想



前日練習の時も利用者はノリノリでしたが、中学生の訪問を受けて別人のような表情をみせた方もいました。初対面同士で緊張してしまうのではないかと心配でしたが、中学生の明るさがあたたかい空気をつくってくれて、わーくす太尾全体がとても盛り上がりました。利用者も、参加してくれた中学生も、一緒に楽しめるように工夫をすればさまざまな出会いや体験ができることを実感しました。

今後も機会があれば実施したいです。

### 参加者の感想



- わーくす太尾に入った時の緊張感は、一緒にポッチャを楽しむことで、すっかりなくなりました。
- 最初は「障害」と聞いているいろいろ考えましたが、ポッチャを楽しんだり、悔しがったりするのは私たちと何も変わらないんだと感じました。機会があれば一緒にいろいろなことチャレンジしてみたいです。
- 利用者の方がいろいろと話しかけてくださり、楽しい時間を過ごせました。地域作業所の仕事も見学できました。

どんなところ？

## わーくす太尾(港北区大倉山)

知的障害のある方などが通所する事業所で、ギフト製品づくりや近隣の公園、街頭清掃などを通じて地域との接点、交流を広げています。利用者には生きづらさを感じたり、コミュニケーションが苦手といった悩みを抱えている方もいますが、わーくす太尾で過ごす時間、活動体験を通じて、笑顔と喜び、楽しさを共有することを積み重ねています。

地域の方々に、わーくす太尾や地域で過ごす障害のある方々についてもっと知っていただきたいと思い、取組を企画しました。

## みんなでポッチャを 楽しみました！



ジャンケンポンッ！

①



それ～

②



ボールどうぞ

ありがとう

③



接戦だな～

④



おめでとう  
ございます！

⑤

## 横浜市ボランティアセンターより

この他の取組については横浜市ボランティアセンターホームページに掲載しています。

令和5年度は、横浜市内の7か所の施設で地元の子どもたちを対象とした取組を実施する予定です。

ボラセン福祉教育の  
取組はこちら



この記事に関する  
お問合せはこちら

横浜市  
ボランティアセンター  
☎045-201-8620  
ホームページはこちら▶



未来へ想いをつなぐ「遺贈(寄付)」を広げていきます ~福祉分野への遺贈(寄付)に関する専門相談~

遺贈(寄付)の無料相談会を開設します

本会では、横浜市内の福祉分野への遺贈(寄付)を検討している方に対し、法律の専門家である弁護士と司法書士の協力のもと無料の相談窓口を開設します。

「どのように遺贈を進めたら良いの?」、「遺言書はどのように書くの?」、「福祉分野へ遺贈したいけど、どうしたら良いの?」などの疑問にお答えします。お気軽にご相談ください。

皆様の思いを未来へつなぐ社会貢献のひとつとして、遺贈(寄付)をご検討いただけますと幸いです。

遺贈(いそ)とは

遺言書に則り、ご自身の財産を法定相続人以外にも遺すことができる、寄付のひとつの形です。

金額に決まりはなく少額でも行うことができます。



実施場所 横浜市健康福祉総合センター会議室

実施日時 令和5年6月14日(水)から、毎月第2水曜日(祝祭日、年末年始を除く)  
①午後1時30分~2時30分 ②午後3時~4時

申込 各回1名 事前予約制(先着順)、実施前々日(月曜日)の17時まで申込受付。

利用対象 横浜市内の福祉分野への遺贈(寄付)を検討されている方 ※利用は1回のみ

協力機関 神奈川弁護士会 (公社) 成年後見センター・リーガルサポート神奈川支部

【問合せ・申込先】

横浜市社会福祉協議会 ヨコ寄付推進担当  
☎045-201-8620 (平日午前9時~午後5時)  
E-mail: yokokifu@yokohamashakyo.jp

みんなのきもち あいがとう

みなさまからお寄せいただいたご寄付は、地域の助けあい、支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



~寄付者の取組紹介~

企業の特長を活かした地域貢献活動(ケーエルエー・テンコール株式会社様)

ケーエルエー・テンコール株式会社は半導体などの検査装置の輸入販売およびサポートをしている会社です。「教育」「福祉」「地域貢献」を趣旨とした基金を設立し、本会にご寄付いただきました。その寄付を財源に地域貢献活動の一環として荏田地域ケアプラザ(青葉区)にて「理科実験教室 ラジオ作り」を実施しました。

工作や理科に興味のある小学3年生以上の子どもたち16名が参加し、社員ボランティアの進行のもと、半導体などについて学び、金属や木のスプーンなどを使い通電の実験をした後、電子回路キットを使ってラジオを組み立てました。電波を受信して音声 flowed 時には、見学している親御さんからも喜びの声があがっていました。ラジオを知らない子どもたちもいるなか、社員ボランティアの方々に積極的に質問をしたりと、興味をもって講座に参加している様子が印象的でした。



横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています ☎045-201-8620

寄付者からのメッセージ

横浜市社会福祉協議会に多大なご尽力をいただき、ラジオ作り講座を開催でき感謝いたします。地域の児童の皆さんにサイエンス体験を提供でき、大変うれしく思っております。また、講座中はたくさんの質問をいただき、私たち参加メンバーも新鮮な気持ちになりました。この講座が、参加児童の皆さんにとって、ミクロの世界や電子回路への興味関心のきっかけとなると嬉しいです。

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。この寄付は「ヨコ寄付」の取組等で使われています。令和5年1月1日~3月31日受付分(受入順)

金銭寄付者

- 〈個人〉
- 萩原 孝一様(2件)
  - 高橋 純子様
  - 小菅 佐稚子様
  - 小林 裕子様
  - 宮崎 和一様
  - 川野 留美子様
  - 野田 陽子様
  - 松村 高志様
  - 梅澤 肇様
- 〈企業・団体〉
- 横浜信用金庫 理事長 大前 茂様(3件)
  - 生活協同組合 ユーコープ かながわ県本部 様
  - 株式会社 フロンティア 様
  - 株式会社 ヘルク フォルテ森永橋店 お客様一同 様
  - 株式会社 ヘルク 横浜川和町店 お客様一同 様
  - 明治大学校友会 横浜地域支部 様
  - ウェスティンホテル横浜 様
  - 有限会社 湘南仲介センター 様

- 横浜幸銀信用組合 様
  - 横浜南陵ロータリークラブ 様
  - 土志田建設 株式会社 様
  - アロマクエスト 株式会社 様
  - 株式会社 ウェイスト・プランナー 様
  - 株式会社 平賀興業所 様
  - 汲沢電設 有限会社 様(2件)
  - 吟楽会 様
  - 一般財団法人 よこしんふれあい財団 理事長 大前 茂 様
  - 株式会社 ぐらしの友 横浜営業所 様
  - 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様
  - 株式会社 大宮ゴルフコース 代表取締役 甘糟 澄子 様
- 〈匿名寄付〉(594件)

物品寄付者

- 〈企業・団体〉
- 公益財団法人 神奈川芸術文化財団 様(2件)
  - NTTテクノクロス 株式会社 様
  - 森永乳業 株式会社 様
  - 横浜農業協同組合 様
  - 株式会社 横浜スタジアム 様

- 株式会社 横浜アリーナ 様
- 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様

ヨコハマ寄付本寄付者

- 〈個人〉
- 片山 恵己子様
  - 栗飯原 智佳子様
  - 信藤 茂樹様
- 〈企業・団体〉
- 西区地域子育て支援拠点 スマイルポート 様
  - 三井住友信託銀行 上大岡支店 様
  - 株式会社 ニューフレアテクノロジー 様
  - 東芝エレベータ 株式会社 神奈川支社 様
  - 東京ガス労働組合 生産支部 根岸連絡会 様
- 〈横浜市社会福祉協議会運営施設等〉
- 横浜市栄区社会福祉協議会 様
  - 横浜市篠原地域ケアプラザ 様
  - 横浜市麦田地域ケアプラザ 様
  - 横浜市東永谷地域ケアプラザ 様
  - 横浜市鶴見区社会福祉協議会 様(2件)
  - 横浜市瀬谷区社会福祉協議会 様
  - 横浜市旭区社会福祉協議会 様
  - 老人福祉センター 横浜市ユートピア青葉 横浜もえぎ野地域ケアプラザ 様
- 〈匿名寄付〉(42件)



ヨコ寄付

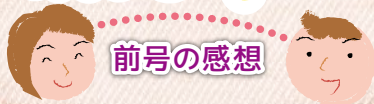
※ヨコ寄付は、「ヨコハマで、すぐヨコへ。」をコンセプトに、本会への寄付金を活用し、既存の制度やサービスでは対応が難しい課題の解決を目指す取組です。

詳細については



こちら▶

# みんなの声



## 前号の感想

夫が民生委員でした。私が特養、有料老人ホームで看護と介護に関わっていました。そして現在は、ボランティアで「デイケア」に行ったり、「介護施設」で、アコーディオンに合わせて歌唱しています。利用者さんに喜ばれて9年目に入りました。  
(瀬谷区 トコちゃん)

介護職員 武石慶太さんの福祉の仕事に関する自身の思いの記述内容に心が打たれました。毎日、利用者のケアに、これだけ尊敬と敬意をもって取り組んでおられる事に感動しました。  
(保土ケ谷区 M.T)

福祉の仕事で、特養で働く方の「いかに充実した時間を過ごしてもらえるかをいつも考えています。」とのことばに感動しました。  
(港北区 U.M)

災害ボランティアセンターのICT活用について初めて知りました。これまでは、「現場に行ってからでないといけない」とが多かったと思います。災害情報システムによって「自分がいつどのようなことができるか」を前もって知ることができますし、地図案内があればより身軽です。このことで、ボランティア登録の敷居がより低くなりますね。  
(南区 R.U)

「横浜あゆみ荘」で食事が可能なことを知りました。メニューも私が好きなものばかり。買い物帰りの楽しみができました。ありがとうございました。  
(緑区 S.M)

私の所にも一人暮らしの高齢者ということで、定期的に民生委員の方が来られ、とても癒されます。ついつい多弁になりがち。楽しいひと時です。ご苦労様です。  
(戸塚区 鈴木孝雄)

ICTを活用した災害情報システムに興味を持ちました。熊本地震の際には、多くのボランティアさんが災害ボランティアセンターに来られ、大行列ができましたが、そういうことがなくなりそうだと思います。  
(福岡県 K.O)

# 福よこクイズ

ご応募・ご感想  
お待ちしております!

マチ付です!

## 「リバーシブルバッグ」プレゼント!

かもめ福祉工房は横浜市営地下鉄ブルーライン仲町台駅から徒歩3分、主に縫製を行っている障害福祉サービス事業所です。プレゼントは帆布を使ったリバーシブルのトートバッグです。他にも通帳入れやメガネケースなどさまざまな小物も作っています。



〈サイズ〉高さ17cm×横28cm  
デザイン・色はおまかせください

- Q1 特集:「国際交流〇〇〇〇」では、外国人住民への生活情報提供、多言語での相談、日本語教室の開催などを行っています。(カタカナ4文字)
- Q2 福祉の仕事: YOKEは外国人が暮らしやすく社会参画しやすいまちづくりに向け、「〇〇〇共生のまちづくりを支援する事業」などを市民とともに進めている団体です。(漢字3文字)
- Q3 市社協情報: 市社協では「未来へ思いをつなぐ遺贈(寄付)を広げていきます。」「遺贈」の読み方は〇〇〇。(ひらがな3文字)

「みんなの声」に掲載された方を含み、抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。締切: 令和5年7月28日(金)必着

**応募方法** はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、下の項目をご記入のうえお送りください。

**応募先** 〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
横浜市社協「福よこクイズ」係  
<FAX>045-201-8385  
<Eメール>  
fukuyoko@yokohamashakyo.jp



▲「福よこクイズ」  
応募フォーム

- 項目**
- 1) Q1~3の答え 2) 郵便番号・住所 3) 氏名(ふりがな)
  - 4) 年齢 5) 電話番号 6) 福祉よこはまの入手方法
  - 7) 興味のある記事の感想 8) 福祉よこはまの入手回数
  - 9) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否  
(匿名希望の場合はイニシャルを記載)

### 【個人情報取扱】

※応募に関する個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にものみ利用させていただきます。

### 〈Facebookのご案内〉

本会ボランティアセンター Facebook では、ボランティア情報を紹介しています。



前号206号「福よこクイズ」の答えは、Q1:民生委員 Q2:介護 Q3:あゆみ でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

(特集)「自分はこの場所にいいんだ」という帰属感があれば、誰にとっても安心して暮らせる場所となります。身近な人のためにできることは、挨拶や何気ない声掛け、笑顔を向けることかもしれません。あたたかい気持ちは必ず伝わります。自分にできることを考えていく機会となりました。  
(福祉の仕事)銀行員からYOKEの職員になるまでには、たくさんの人との出会い、驚きや感動があったと伺いました。エピソードを語られる笑顔は温かく、時に力強く、ご自身の仕事に対する誇りを感じました。  
次号▶No.208 令和5年9月発行予定

〈発行〉  
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会  
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
☎045-201-2090  
FAX:045-201-8385  
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp  
URL: https://www.yokohamashakyo.jp  
  
〈デザイン〉  
株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

広告

## 公益財団法人 横浜市シルバー人材センター

**会員募集中!** **会員登録 無料**

シニア世代の「働く・学ぶ・参加する」を支援します



お仕事紹介

技能講習会

サークル・ボランティア

### 入会条件

- ★横浜市内在住の概ね60歳以上の方
- ★お仕事・仲間作り・社会参加したい方

### 会員登録の方法

- ★オンラインで登録(所要時間20分程度)
- ★来所して登録



〒233-0002 横浜シルバー 検索  
横浜市港南区上大岡西1-6-1オフィスタワー13階

TEL: 045-847-1800



令和5年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料（1名あたり）** 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは  
こちらから



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

<引受幹事> 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)